

平成26年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

| | | |
|---------------|-----------------|---|
| 実施団体 | | 特定非営利活動法人akta |
| 実施事業名 | | 東京都の高校生を中心とする若年層に対する、HIV/AIDSの普及啓発事業 |
| 団体代表者 | | 荒木 順子 |
| 事業の目的 | | 性行動、およびその興味が活発になるティーンエイジャーがHIV/AIDSをはじめとした性感染症についての正しい知識を持って予防行動をできるようになる事。そして、この活動を継続・発展していくために、対象となるティーンエイジャーからHIV/AIDSの啓発普及に関心を持つ人材を育成する。 |
| 事業の達成度 | | 啓発ツールを紙媒体から電子媒体に切り替えたことで、より広い層の一人ひとりへ情報提供および啓発が実現できた。また大学生などティーンエイジャーに近い人たちと研修会を行い、意見交換、プログラム開発、講演を実施した。 |
| 事業実績 | 対象となった人数 | 東京都の都立高校（176校）・私立高校（239校）の養護教諭、および高校生（学生数：推計 約360,000人） |
| | 具体的な活動内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 介入対象の拡大および、意見交換会の開催の実施 2) ウェブページ「もっと自分のカラダのことを知ってみよう」の作成と周知 詳しくはこちら→http://www.akta.jp/karada/pc.html?from=Top_bnr 3) ウェブページの周知をはかる資材の制作とアウトリーチ 4) ピア・スピーカーの養成と講師派遣 5) その他、資材設置等の協力 |